



日本共産党 荒川区議会議員

Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

855 2023年2月19日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
3月6日(月)
18時~20時
横山区議事務所
お気軽にご相談を

2023年度予算案 1133億円過去最高

Table with 3 columns: Category, Item, Amount. Includes sections like '区が発表した予算の重点施策', '安心・安全', '子育て支援', '地域福祉', '産業振興', '環境対策', 'にぎわい'.

区が学校給食無償化を予算案に計上
区民の声が区政を動かしました

2023年度荒川区予算案に学校給食完全無償化が計上されました。
学校給食の無償化は、憲法の義務教育無償の原則実現、給食が食育として位置づけられ、子どもの権利・貧困問題の解決にも寄与するなどきわめて重要な意義を持っています。
こうした立場から日本共産党区議団は、この10年間で10回の質問、3回の条例提案など毎年繰り返し実施を求めてきました。一方、区と自民・公明は「国や都がやるべき」として荒川区独自の美施に消極的でした。
今年に入り、区民の切実な声が区政を動かす実現にいたりしました。引き続き子育て負担ゼロの荒川区をめざします。



この10年間日本共産党区議団の質問と提案
本会議での質問...10回
2012年11月区議会の代表質問で「区独自の学校給食無料化」を要求。区は「学校給食法により保護者負担。無償化は難しい」。以来2016年11月区議会~2022年9月区議会まで毎年、無償化を求めている質問。
区は、2018年2月区議会から無償化を認めつつ「国や東京都として実施すべき」との答弁に変わる。
「給食の無償化条例」を提案...3回
2014年2月区議会で、学校給食無償化の条例を提出。「食材費は一定自己負担が当然(自民)」「国、都がやるべき(公明)」と反対否決。以後2015、16年も提出。
2022年9月の本会議で「無償化」を再度要望
区は「区単独でなく、国・都の施策として広域でやるのが望ましい」。決算委員会では「葛飾区の無償化はパフォーマンス」「荒川区が同じことをやらないように(公明)」との質問に、区も同様の見解だと答弁。(自民は給食無償化に関する質問は無し)
しかし区民の切実な声と議会論戦が区政動かし実現へ

区民のくらしを守る
財源は十分あります
予算案は、一般会計予算案は1133億7千万円、前年度比62億1千万円・5.8%増で過去最大規模。重点施策(上表)以外にも「本庁舎建て替え」12億5千万円や学校建替え7億円など多額の基金を積立てがあります。これまでは「学校建替え」の財政負担などで給食無償化は「難しい」としてきました。学校給食無償化は、国や都の補助や基金取り崩しもなく対応しています。基金残高も400億円台を維持し、区民の願いの実現の財源は十分あります。
物価エネルギー高騰の下、くらし応援を最重点にした予算編成が強く求められています。

また「銭湯」が一つ消える(荒川2野崎湯さん)
公衆浴場は地域の公営財・存続は史念場!
町屋地域に残った銭湯は、3つになっています。全区的にも銭湯のない地域も生まれています。
そんな折、荒川2丁目にある野崎湯が3月31日で営業終了に。跡地は、共同住宅(4階建て)になるようです。このままだと区内から銭湯がなくなるのでは...との心配の音が聞かれます。
銭湯は、公衆衛生とともに地域コミュニティ、交流の場でもあります。また、浴場組合は、水の提供など荒川区と防災協定を結んでいます。なんとか銭湯を残す手立てはないか、同僚議

帯状疱疹ワクチン予防接種助成・4月から
50歳以上の方は、新型コロナウイルス感染症で帯状疱疹の発症や入院のリスクが上昇することが明らかになりました。接種希望者は健康推進課へ連絡し、接種の前に帯状疱疹ワクチンの予診票を受け取った後、区内の協力医療機関にて接種を受けます。接種費用の半額程度の助成額です。
助成開始時期：2023年4月(予定)
接種対象者：2023年4月1日以降、接種日に荒川区に住居登録がある50歳以上の方
助成金額：(生涯1回のみ)
生ワクチン 4,000円 助成回数1回
不活性化ワクチン 11,000円/回 助成回数2回



議員が議会で銭湯維持の質問しました。みなさんのご意見をお寄せ下さい。
横山幸次





町屋さくら復活を!

## 2月議会 特集…

# 提案と質問でみなさんの願いを届け くらし最優先の予算編成を求めます

### 就学援助条例（対象の拡大）

今回、学校給食は、4月から無償となります。家計の負担軽減、義務教育無償に向け一歩前進です。

しかし、標準服という名の制服、修学旅行、上履き、体操着、教材、教具など多くが家計の負担で義務教育が行われています。

そのため就学援助はありますが、生活保護基準の1.2倍以下という低い基準です。この数字では、中間所得層では、税や保険料を除くと逆転現象も起こります。また、学校給食無償化は、事情があって他区の学校に通う子どもたちには適用されません。

就学援助の基準を生活保護の1.2倍から1.5倍に引き上げる提案です。



### 住宅リフォーム助成条例

予算案に区内事業者を直接支援する対策はありません。

そのため、少ない予算で大きな経済効果を生み出す区内施工業者を使った住宅リフォーム工事に補助金を出すための条例を提案します。

10万円以上の住宅リフォーム工事に對し工事費の5分の1、上限40万円を助成する提案です。



みなさんの声を届け実現に向けて力をつくします。ご意見と要望などお寄せください。



日本共産党荒川区議団は、2月会議で、3つの条例を提案をします。物価・エネルギー高騰などに苦しむ区民の暮らしを直接応援する内容となっています。

特に、予算案の中で、緊急性があるにもかかわらず、区内に決断を求めたいと思います。

区に決断を求めたいと思います。

みなさんの声を届け実現に向けて力をつくします。

ご意見と要望などお寄せください。

補聴器助成と就学援助の対象拡大、住宅リフォーム助成…  
日本共産党区議団は、3つの条例を提案します

### 荒川区議会 2月会議日程

- 2月15日、20日 本会議（一般質問） 10時から
  - 21日 総務企画委員会、福祉区民委員会
  - 22日 文教子育て支援委員会、建設環境委員会
- それぞれ10時から
- 2月28日 3月1、2、3、7、8、9、10日 予算特別委

### 「高齢者補聴器購入助成条例」助成額を2倍に

昨年6月から始まった補聴器購入助成は、1月末現在で申請した人97人(申請書交付は157人)。購入機器の平均額は、約20万円。出費額を考えると、申請を躊躇する方もおられます。区が対象拡大(年合計所得額350万円未満)したことに加えて、金額も引き上げることが必要です。

現在の区制度の補助額2万5千円を5万円に引き上げる提案です。



## 新年度予算案で実現した区民要望

### 緊急通報システム設置 携帯電話もOKに



ひとり暮らし・日中独居・高齢者のみ世帯の電話に機器を設置して、何かの時にボタンを押すと警備員が駆ける・119番通報するシステム。携帯電話でも対応できるようになります。



### 補聴器購入助成の対象を 年合計所得350万円まで拡大



区は、新年度から所得制限を緩和し非課税者(年間合計所得350万円未満)に対象を拡大します。区内の65歳以上の約9割が対象になります



多くの方が補聴器を購入できるよう助成額引き上げなど制度の改善が必要です。



### 今週のデータ 18歳前後の若者「将来子どもを持つ」46% 金銭負担、仕事との両立などが壁に

NHK「NEWS7」で昨年12月に日本財団が実施した18歳前後の若者の「働き方、子育て、価値観」などのインターネット調査結果が紹介されています。

その結果を見ると子どもの持つ壁は、「金銭的負担69%」「仕事との両立54%」となっています。

400万円の奨学金をこれから18年間かけて返済していかななくてはならない女性は「子どもは絶対生まない」と述べています。

「異次元の子育て支援」など言葉だけではなく、教育費の負担軽減こそ急務です。

